

拠出金名:国連国際防災戦略拠出金

国際機関等名	国連国際防災戦略事務局 (英文名称・略称) United Nations International Strategy for Disaster Reduction (UNISDR)				
種 別	(国連(事務局))	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省国際協力局緊急・人道支援課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成22年度	79,497	846		1米ドル=94円	100
平成21年度	87,550	850		1米ドル=103円	100
平成20年度	96,050	850		1米ドル=113円	100
当該拠出金の目的・用途等	防災事業費				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2010年のもの)				国際機関等の財政 (2010年度決算)(米ドル)	
	国 名	金額 (千米ドル)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入	27,948,746
1位	スウェーデン	7,781	28.8	当該年度の支出	24,976,475
2位	世銀	4,757	17.6	次年度への繰越	2,972,271
3位	韓国	2,500	9.3	会計検査機関名	
4位	オーストラリア	1,727	6.4	国連会計検査委員会 (UN Board of Auditors)	
5位	EU	1,635	6.1	(現在の構成員の出身国:英, 南ア, 中)	
日本(外務省, 内閣府の拠出を含む)は8位、拠出率4.2%					
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
<p>UNISDRは、防災を担う唯一の国連機関であり、特に、2005年に第2回国連防災世界会議(於:兵庫)で採択され、防災施策に関する国際的なスタンダードである「兵庫行動枠組(2005-2010)」の実施を推進する役割を担っている。同枠組には、我が国が提案した方針や施策が盛り込まれているが、UNISDRは定期的な会議の開催や防災白書の作成等を通じて同枠組のフォローアップを積極的に行っており、我が国としてもその活動を支援することが必要である。</p> <p>我が国は、2011年3月の東日本大震災において得られた教訓を世界と共有するため、第3回国連防災世界会議を招致し、兵庫行動枠組に代わる新たな枠組の策定に積極的に関与したいと考えている。同会議の開催場所は国連総会決議にて決定される所、UNISDRと引き続き緊密な連携を行うことが重要である。</p> <p>なお、UNISDRは、2010年1月に自らの過去4年間の活動状況を審査する評価運営委員会を設立し、外部評価を実施の上、ドナーをはじめとするパートナー国と評価結果について議論を行い、その活動に反映させる等、十分な改革努力を行っている。さらに、UNISDRは、例年秋に前年度の会計報告を行っているが、報告書は遅延なく提出されている。</p>					
邦人職員数	2人		当該機関全体の職員数	70人	
うち幹部以上	うち 0人		及び邦人職員が占める率	2.9%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
幹部ポストへの邦人職員送り込み実現に向けて引き続き努力する。					

(注)我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。